

寒い春のなか、国道107号線のゆるやかなつづら折りが、急坂を彼はふうふうと息を切らせながら自転車をおしていた。北上山系に包まれる口内を目指していた。

一昨年、二子から相去と市の南北を電動スポーツサイクルで踏破し、今年は東西の踏破を考えていた。自転車借用の書類を書きながら口内への道を聞いた。担当の女性は「私の出身地ですが、大変ですよ」と首を傾げた。自転車を借りてすぐに彼は合点した。大型ではあるがマチヤリ。ヘルメットをかぶり、サドルの高さを合わせて、慣れないママチャリに不安と後悔を覚えながら出発した。何とか107号線に入り100メートルも進まないうちに心臓がバクバクいう。降りて自転車をおし

ながら坂を上るしかない。つづら折りのため峠は見えない。何度も引き返そうと思うが、ここで引き返したら残り少ないがこれからの人生がダメになると意地で自転車をおす。道端の木々は固い蕾、道路の北端には残雪、ばっけ(フキノトウ)だけが励ましてくれる。漱石の草枕「山道を登りながら、こう考えた…：意地を通せば窮屈だ」を脳裏に窮屈ではなく苦しいと、漱石に訴えていた。ようやく峠に達しここから口内。空模様は怪しくなり、少しだけ峠を下り写真に収め撤退。帰りは冠雪の雄大な奥羽山脈を遠方に、北上市街を眼下に快走し日高見橋に。北上川の土手を展勝地に向かった。

前日は彼が属する小金井の奉仕団体が展勝地の桜との係わりで新しく立花に開校した東桜小



## 早春の北上

北上ふるさと会 会長 **渡邊嘉一郎**

# 在京きたかみ

発行/北上ふるさと会  
所在地/〒103-0027 東京都中央区日本橋2-2-3 リッシュビル4階  
貴ビル日都商事株式会社内  
発行責任者/渡邊嘉二郎  
TEL: 03-3274-1501  
FAX: 03-3274-1509  
E-mail: jimukyoku@kitakami-hurusato.jp  
URL: http://kitakami-hurusato.jp

令和6年(2024) 9月  
北上ふるさと会会報 第22号



107号から市街を望む



## さらに住みたくなるまちへ

北上市長 **八重樫 浩文**

北上ふるさと会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。お陰様で就任2年目を迎えました。就任2年目となる令和6年度は公約に掲げた「住みよい

学校に小金井薄紅桜を寄贈し、全校生徒の皆さんと植樹した。彼は生徒さんの御礼としての校歌の合唱に心を熱くした。サイクリングの夜は彼の高校の同級生の傘寿の集いに参加。翌日は甥の案内で早春のすず(湧水)めぐり、和賀町藤根で座禅草におめにかかった。30℃の熱を発し周りの雪をも溶かすという。ここに早春をみた。北上の小旅行、彼は心行くまで楽しんだ。

## きたぶら

旬のイベントから観光プラン、グルメスポットまで様々な情報を提供

北上観光コンベンション協会公式ホームページ  
<https://kitakami-kanko.jp>

観る・遊ぶ 泊まる 体験する 食べる イベント情報

天候不順でお盆の墓参りを断念された方も多いのではないのでしょうか。北上観光コンベンション協会のHP「きたぶら」で、北上の様々な情報を検索出来ますので、次回帰省の折にお役立て下さい。何年

も帰省していないという方も、北上の今を感じることが出来ます。北上駅東口の「観光案内所」と、さくらPORT・HOTEL1階協会事務所では、無料の冊子「きたぶら」を配布しています。

### 「北上ふるさと会の集い」会場案内

HOTEL, BANQUET & RESTAURANT  
**Gp 東京カーテンパレス**  
tel.03・3813・6237 (宴会予約直通)  
tel.03・3813・6211 (代表)  
〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5  
<http://www.hotelgp-tokyo.com>

■JR/御茶ノ水駅聖橋口、東京メトロ丸の内線/御茶ノ水駅、東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅聖橋方面出口、聖橋を渡り徒歩5分  
■東京駅・上野駅より車で10分

## ふるさと北上応援寄付

(ふるさと便PR事業)

担当課：産業雇用支援課

【問い合わせ先・申し込み先】  
北上ふるさと納税サポートセンター  
(ふるさと納税受付業務委託先) **0197-64-6611**

本市では、「ふるさと北上応援寄付」の拡大と特産品のPRのため、御寄付いただいた方に御礼の品を贈呈しています。農畜産物のほか、特産品、観光サービス、工業製品など1,400点以上の御礼の品を御用意しております。令和5年度の寄付額は13億6千万円(約64,000件)で、ティッシュ、トイレトペーパー等の日用品や、トロイカのチーズケーキ、新鮮な北上野菜やお米といった御礼の品を多くの方にお選びいただきました。

今年度からは、新たなポータルサイトとして、「さとふる」も導入しており、ふるさと納税をきっかけに北上を知っていたり、また、事業者や御礼の品のファンが増えるよう、これまで以上に北上市の魅力を発信して参りますので、引き続き応援の程よろしくお願いたします。

### ★各コースで人気・おすすめの特典★

<b>5,000円コース</b> A0132 【榊薬団】ふわふわどら焼き(8個入り)	<b>7,000円コース</b> B0394 【P&Cリンク(株)】たっぷり野菜セットA B0333 【水曜屋】さくさくパニラクッキー詰め合わせ	<b>10,000円コース</b> C0292 【(株)西部開発農産】せいふ農産米 岩手ブランド米 銀河のしずく 5kg
<b>12,000円コース</b> C0251 【展勝地】北上名物展勝地もち 冷凍たれ餅特選4種セット	<b>15,000円コース</b> D0309 【トロイカ】チーズケーキ5号サイズ	<b>50,000円コース</b> H0129 【(株)ユーティーオー】天使のマフラー H0009 【お肉のたかゆう】最優秀賞受賞 和牛 ブランド牛 きたかみ牛 ロースすき焼き用750g



ふるさとチョイス 楽天ふるさと納税

### 第32回「北上ふるさと会の集い」

今年の「北上ふるさと会の集い」は11月9日(土)に開催

「集い」は首都圏在住できたかみ出身者の年に1度の交流の場です。北上市長をはじめとする地元の方々や、懐かしい仲間と語り合える大切な機会です。是非、「ご参加いただけますよう」ご案内申し上げます。詳しくは同封「集い」の開催案内をご参照ください。

北上 住みたい北上」の実現に向けて、政策を着実にステップアップしていきます。

昨年度は、さくらホールが開館20周年、市立博物館が開館50周年を迎え、当市の文化芸術の核ともいべき施設の周年事業を通して、改めて文化芸術の歴史を市民と共有するとともに、郷土の文化を未来に引き継いでゆく契機となりました。

今年度は、鬼の館が開館30周年を迎え、本年6月を鬼の館月間とし、様々な記念事業を開催して節目の年を祝うことで、「鬼」という当市を代表する地域資源を活用しながら、郷土愛を醸成していく良い機会となりました。また、JR北上線が11月で全線開通100周年を迎えることから、沿線自治体や関係団体と連携した記念イベントを

計画しておりますので、ぜひ御期待ください。

さらに、令和6年は北上市とアメリカ合衆国コンコード市が姉妹都市提携を締結して50周年を迎える年でもあります。北上出身の工学博士がコンコード市長及びコンコードテレビ局の社長と面識があり、両市に共通性があったことから、昭和49年に姉妹都市の提携を結びました。これまで教育や文化の面で交流し築いてきた強固な友好関係を一層深めるとともに、今後の永い交流と発展を誓い合うため、10月にコンコード市にて開催されます記念式典に、北上市友好訪問団一同で参加して参ります。

今後も様々な機会を活用して、当市の魅力を感じていただけるよう、取り組んで参ります。結びに、北上ふるさと会会員の皆様の御健勝での御活躍をお祈り申し上げますとともに、引き続き当市への御理解、御協力をお願い申し上げます。

# ふるさと北上民話研究会「25周年口演」

「ナオス(自分の名前)、おめえねっからのせえんごたるだから、今でもいながなまりがつえ。今度でぎだッえなだり」の民話語りの会さ、かじあつてしゃべらねが」と誘われ、入会し、もう25年がたった。初舞台は岩手県物産販売のアンテナショップ「銀河プラザ」。間近で熱心に聞いてくれる人たちに見つめられ、すっかり上がってしまい、えなだり語は何処へやら全て「標準語」に裏返ってしまい散々な思いをした。しかし、仲間から「最初は皆、そんなもんだ」と温かく慰められ、やめずに続いている。

そして今年6月22日(土)、我々、ふるさと北上民話研究会は「発足25年記念口演」として御茶ノ水の東京ガーデンパレス「高千穂の間」で開催した。50名を越す聴衆を迎え、鈴木昌子会長の挨拶、北上から来て頂いた及川義明副市長の祝辞をもらい、25周年の節目にふさわしい盛大な会となった。

口演発表は民話研究会10名が行い、ティーブレイクの休息を喜んで2部構成で行われた。休憩時間にはケーキとコー

ヒーがふるまわれた。司会は15周年と同じベテラン中川明巳氏が務めた。

- 第1部
  - 頭おつけの助 小原純一
  - 無筆の手紙 井藤佐和子
  - ツルカメの話スッコ 南館美達
  - 南部藩と仙台藩の国境 千田直
  - 権現さんの鼻水 阿部光子
  - 第2部
  - 禅問答 小原正彦
  - 地藏浄土 園牧枝
  - びつくり 高橋道直
  - うそ八百 鈴木昌子
  - うば捨て山 小野寺りり子
  - 聞き手も語り手もふるさと北上出身者が殆どの口演で、昔話を聞く楽しみと語る喜びをかみしめながら、伝承文化としての民話の再認識してもらえる機会



口演する筆者



鈴木会長ほか民話研究会の方々

となった。おとりのうば捨て山の発表では涙を流しながら聞いてくれる聴衆がいて、民話の持つ力の大きさ、深さを感じた。自分的に大相撲「二所ノ関」の名前の所以は南部と仙台藩の国境ができ、奥州街道に南部藩鬼柳閣所と仙台藩相去閣所ができ、その距離があまりにも近かったことに関連すると北上にいた時は知らなかったことが民話を通して知り、大感激した。

発足25年の口演はこれまでの会員、準会員延べ50人の思いをつないだ盛大なものとなった。続けることは本当に素晴らしいとの証明でもありました。これからも是非、民話語りを続けてもらい30年、40年とこの会を続けてほしいと切に思います。(記 千田直)

# 三田氏「東大励志プロジェクト」を語る

在京北上産業人会では令和6年7月20日にネットイベント「ドラゴン桜 原作者 三田紀房氏講演会」を開催しました。当日は八重樫浩文北上市長をはじめ北上、首都圏の方々にご参加を頂き総勢35名のイベントとなりました。

創立百周年を迎えた黒沢尻北高校が東大合格者を輩出するための「東大励志プロジェクト」を進めており、これに落ちこぼれの生徒が受験に挑む大ヒット漫画「ドラゴン桜」作者で黒北OBの三田紀房氏(北上市出身)が全面協力しており、今回の講演会では三田先生の「東大励志プロジェクト」を通して母校そして故郷への熱き思い等が語られ、多くの参加者が三田先生の熱い活動に感銘を受けました。ちなみに「ドラゴン桜」を漫画では知らず阿部寛主演の大ヒットドラマで観た方も多いかと思

います。「東大励志プロジェクト」は東大受験に向けて教員とは異なる視点からのアドバイスを受けることで学校全体の学力向上・進学指導力の向上を狙った活動を行っています。具体的には地



三田紀房先生



八重樫浩文北上市長

在京北上産業人会 ネット de 企画第四弾  
**ドラゴン桜 原作者 三田紀房氏 講演会**  
「黒北・東大励志プロジェクト」を語る

創立100周年を迎える黒沢尻北高は東大合格者を輩出するための「東大励志プロジェクト」を進めている。これに落ちこぼれの生徒が受験に挑む大ヒット漫画「ドラゴン桜」作者でOBの三田紀房氏(北上市出身)が全面協力している。三田紀房氏の「東大励志プロジェクト」を通しての母校そして故郷への熱き思い、若い世代の可能性を広げる活動を共有しながら、我々も故郷に何ができるかを考える機会にしたい。

講演会パンフ



イベントオンライン風景

域格差・情報格差など様々な逆境を乗り越えた「リアルドラゴン桜」な人たち(東大生)から東京での合宿や月1回90分のオンライン講義などで受験生としての過ごし方、模試の活用方法、ペンチマーク勉強法、東大生との座談会、東大の過去問分析等、指導を受けています。

今春の東大合格者は輩出できませんでしたがプロジェクトに

参加した生徒たちの相乗効果として難関大学合格者数がここ数年の平均を超えるなど生徒たちの進路希望達成に大きく貢献しています。

一方プロジェクトを継続していくためのコストも課題であり黒北OB会を中心に募金も呼びかけています。「東大励志プロジェクト」は大人たちが子供たちの挑戦を支援するプロジェクトでもあり、その挑戦が次の挑戦を生み、同時に地域の活性化にもつながると考えます。ぜひ

# 大江戸探索会

役員会で事業計画を審議する際、参加者の高齢化の見地から、開催を年6回から4回に、時間も短縮をしようとしたはずなのに、その後も元気に回を重ね、7月7日で第112回を数えます。

菊池威会長の人柄もありますが、皆元氣いっぱい、北上ふるさと会の部会活動の中では最も活発に活動していると言えるでしょう。

案内人や事務局はたいへんです。事前の書類調査から始まり、数回にわたる現地調査と当日の案内資料づくり。参加費や年会費の受付業務も、多い時は40名くらいになるので忙しい。反省会をたのしみに行っている人も多から、この準備もあります。これら事務方の苦勞も理解すべきたと常々思っています。

- ・第106回「江戸川橋・護国寺」(令和5年7月)江戸時代の物流の拠点江戸川橋から鳩山御殿など
- ・第107回「目黒・五反田」(9月)国立科学博物館附属
- ・第108回「北千住」(12月)千住は今も昔も交通の要衝、江戸時代の宿場町を偲びながら関連遺跡を回る
- ・第109回「蔵」(令和6年1月)江戸時代の中山道の宿場町、成年式・新幹線電車発祥の地でもある
- ・第110回「椎名町」(同3月)漫画家集団の「トキワ荘・漫画ミュージアム」を中心に回る
- ・第111回「鎌倉」(同5月)和賀江嶋の清掃活動の後、和賀氏ゆかりの地を中心に訪れた
- ・第112回「下北沢界隈」是非みんなで未永く続けたいものです。家に閉じ困らず外に出ましよう！(記・小原磯則)



106回 江戸川橋・護国寺集合写真

皆で支援の輪を拡げていきたいと思います。

イベントの一部からそのまま二部に流れ込む形になりましたが八重樫浩文北上市長、三田先生ともに最後まで参加して頂き熱く有意義なトークが出来ました。

# 第63回北上・みちのく芸能まつりに参加して

第63回北上・みちのく芸能まつりは、例年通り熱気に包まれ、私もふるさとの旧友、そして現地で合流したふるさと会の高橋正明さん、飛田さんと共にその場に身を置きました。

中学時代、運動会で鬼剣舞を踊った経験がある私にとって、この祭りは、タイムスリップしたような感覚を覚える、特別な場所です。祭りの2日目、鬼剣舞大群舞が始まると、私は中学生の頃の運動場にワープしたような気がします。あの時と同じように、体中に力がみなぎってくるのが分かります。仲間たちの勇壮な舞が目には焼き付いています。特に、鬼たちが一斉に動き出す瞬間、地響きのような太鼓の音と、息を飲むような静寂が織りなすハーモニーは、まるで時間が止まったかのように感じられました。



通常開催の北上・みちのく芸能まつり

(記 菊池 潤)

### 令和5年～6年 北上ふるさと会行事 (令和5年9月20日～)

9月20日	水	在京きたかみ21号発行
9月24日	日	第107回大江戸探索会(目黒～五反田)
10月5日	木	ポケモンゲームにキタカミの里登場
10月8日	日	岩手民話まつりin滝沢参加
10月13日	金	北上夜曲を歌う会
10月14,15日	土日	小金井なかよし市民祭り
10月22日	日	金ヶ崎人会参加
10月23日	月	北上ふるさと会役員会
11月5日	日	池袋駅前「献血活動」
11月9日	木	第26回山歩きの会「箱根明神ヶ岳」
11月15日	水	北上ふるさと会役員会
11月25日	土	第31回北上ふるさと会集いの会
12月10日	日	第108回大江戸探索会(北千住界限)
1月19日	金	北上ふるさと会役員会
1月28日	日	第109回大江戸探索会(蔵界限)
2月4日	日	岩手県人連合会「新春の懇親会」参加
2月21,22日	水・木	北上・西和賀観光物産展
2月29日	木	第27回山歩きの会「湯河原幕山・南郷山」
3月2日	土	第110回大江戸探索会(椎名町界限)
5月4日	土	第28回山歩きの会「三浦富士・武山」
5月15日	水	北上ふるさと会役員会
5月26日	日	第111回大江戸探索会(鎌倉界限)
5月26日	日	鎌倉和賀江島の清掃活動
6月2日	日	第50回岩手県人の集い参加
6月22日	土	ふるさと北上民話研究会 発足25年記念口演
7月4日	木	北上市企業懇談会2024参加
7月7日	土	第112回大江戸探索会(下北沢界限)
7月20日	土	ドラゴン桜原作者三田紀房氏 講演会開催 在京きたかみ産業人会主催

### “山歩きの会” 風薫る五月の三浦富士紀行

富士山と呼ばれる名山が日本に23座程有りそれに郷土富士と呼ばれる山を加えると340位あると云われています。北海道の蝦夷富士(羊蹄山)・青森の津軽富士(岩木山)・岩手の南部片富士(岩手山)等々…そんな富士山にあやかり山歩きの第28回は5/4(土)三浦半島に横たわる“三浦富士183m-砲台山206m-武山200.4m”を縦走してきました。

京急線津久井浜駅から歩いて60分程の所に緑豊かな三浦富士があります。この時期のハイキングは萌える若葉が眩しくフィトンチッドの薫りも爽やかで心地が良い、そして東京湾や房総半島の眺望も素晴らしく癒される……山頂には信仰の厚さを感じさせる石祠等が多くありました。そして三浦富士から30分程先の所にコース最高峰の砲台山があります。

なんと第二次大戦時に築いたとされる砲台の跡が残っていました……ここから何発か撃ったのだろうか？ そんな想いを巡らせながらここで昼休憩を取りました。

コースの最後は武山、山の由来は日本武尊が東征の際この山に登って旗揚げしたとの言い伝えから武山となった様です。五月初旬の山頂は二千株余りのツツジに囲まれ、花で埋め尽くされる様だが今年は開花が早く見頃を逸したのは残念でした。奥に在る武山不動尊に参拝して下山、その時期にはイチゴ狩りやミカン狩りで賑わう観光農園を通り津久井浜駅に着いたのが15時半過ぎ、駅前の店で疲れ癒しの反省会……楽しいハイクでした。(記：熊谷 忍)



健脚の6人・・・三浦富士山頂で

新緑の山道

### 和賀江島の清掃活動

#### 「北上和賀江島の会」と111回大江戸探索会参加メンバー合同で「和賀江島」の清掃活動を行う

5月26日好天の中、昨年同様「和賀江島」の清掃活動への参加を含めて第111回大江戸探索会は、鎌倉を散策しました。今回も案内人は、菅原清徳・阿部達彦両氏で、元八幡など新たな発見もあり、北上と鎌倉の結びつきの強さを実感しました。「和賀江島」の清掃活動には、今年も「北上和賀江島の会(代表・佐藤克英氏)の方々10名とご一緒した。一行は平泉ナンバーのレンタカーで駆けつけた。貴重なワラビを頂戴して自宅に持ち帰り、故郷を偲びながら味わうことができた。

和賀江島は鎌倉時代・北条泰時の頃に造られた日本最古の港湾施設といわれる。和賀氏の娘が北条家に嫁いだ関係で和賀一族が施設の建造に携わったのがそもそものご縁であるらしい。今は港の風情はなく、建造に使われた丸石が散在しており、その中の清掃活動が引き潮を狙って行われた。開会式には、鎌倉市長も駆けつけ、鎧姿で挨拶した。



北上からの一行と記念写真

### 北上・西和賀観光物産展

2月21日(火)・22日(水)の2日間、北上市と西和賀町合同の「観光物産展」が、東銀座のいわて銀河プラザにて開催されました。コロナ化で開催が休止していた民話研究会による民話の語りも4年ぶり行われました。

北上市職員の方が中心となつて店頭販売を担当。展示商品は、酒、鬼剣舞特別純米酒、リンゴ、西わらびと野菜のピクルスなど多種多様です。販売員は、北上市商業観光課の西野さんら数名。平日の午後ということもあり、客数はまだ多くないよう

でした。事前に物産展のチラシを入手できていたので、迷わず鬼剣舞特別純米酒とリンゴを購入しました。

鈴木会長をはじめ、千田直さん、井藤佐和子さん、小野寺り子さんの4人の語り手がそれぞれ得意の口話を披露した。当日、会場には立ち見の人も含め30人強の人が参加しており、北上市の民話に聞き入っていました。北上出身の自分にとって北上弁の語りは懐かしく、癒されます。(記 菊池 潤)



挨拶する鈴木昌子会長

銀河プラザ内観光物産展会場

### 久しぶりに「北上夜曲」を歌ってきました。

令和5年10月13日、北上ふるさと会のメンバー17名が今は高田馬場に移った歌声喫茶「ともしび」に結集しました。令和元年から、北上ふるさと会の事業にもなったこの会も、長引くコロナ感染症防止の観点から余儀なくされていきました。「ともしび」も新宿店が閉店になり、しばらく間がありました。昨年11月、高田馬場に開店し、ようやく「北上夜曲を歌う会」も復活出来ました。

当日、「ともしび」では「北上夜曲」をはじめ、昔懐かしい曲を大声で歌ってきました。青春

回帰のひと時でした。今回も夫婦で参加いただいた渡邊会長も「最近よく歌われているらしい歌はなかなか歌えない、歳と時代を感じる」とつぶやきましたが、みんなで歌うたことにはしばし時を忘れさせます。次回10月2日です。詳しくはホームページをご覧ください。(記 小原磯則)



去年の参加者一同

### 北上ふるさと会の集い

令和5年「北上ふるさと会の集い」30周年として開催

令和5年11月25日(土)、「北上ふるさと会の集い」が東京ガーデンパレスで開催されました。参加された方は及川北上副市長をはじめ来賓の方22名、会員109名総勢131名の参加でした。11時30分から北上ふるさと会の総会。渡邊会長の挨拶に始まり、令和4年度の事業報告、決算報告、令和5年度の

事業計画、予算案について菊池幹事長から報告、さらに新役員提案がされ、原案通り承認されました。

続いて情報交換会が行われ、及川北上副市長から北上駅東口再開発事業の完成について、黒沢尻北小合唱部、上野中学吹奏楽部、北上翔南高校鬼剣舞部の活躍、北上駅西口の再開発計画などの報告がありました。ふるさと北上民話研究会千田

直さん、園牧枝さんの口演があり八重樫北上市議会議長の乾杯の首頭で懇親会に移りました。アトラクションとして恒例の二子流東京鬼剣舞の勇壮、華麗な演舞があり、30周年として津軽三味線の演奏と日本舞踊が演じられた。今回はコロナ対策もなく歌いたい人が壇上に上がり「北上夜曲」そんな街 北上の2曲を熱唱。来賓の方々、ふるさと会役員、会員が会場いっぱいこの輪になって「北上 おでんせ」を踊りました。中締めは折笠名誉会長の三本締めで参加

者の健康を祈念し次年度の再会を約束して閉会した。今までは出身地別に席に着くことが原則でしたが今回は「黒北古希の会」の様に個別のテーブルが作られた。さらに知人同士が一人ぼっちにならないように席次担当者が配慮した結果、今までとは違い会話の弾んだ和気あいあいな懇親会になった。また、鬼剣舞が見たいというお子さんの参加者があった。初めて参加された方は「楽しかった。もっと前から参加していれば・・・」と笑顔で帰って行か



東京二子流鬼剣舞



総会で首頭あいさつを行う渡邊嘉二郎会長



輪になって踊る「北上 おでんせ」

## ふるさと北上の子どものたちの活躍

### 市立上野中学校吹奏楽部

#### 第71回全日本吹奏楽コンクール3年連続4回目金賞受賞

令和5年10月21日に名古屋市で行われた「第71回全日本吹奏楽コンクール」で北上市立上野中学校吹奏楽部は3年連続で4回目の金賞を受賞した。

昨年の3年生は1年時の同大会で金賞を受賞、2年時でも金賞。最高学年になって落とすわけにはいかないと常に「金賞」を口に出し、自らにプレッシャーをかけ続け「応援して下さる方々や先生、講師に感謝し、今できる最高の演奏ができた」と重圧の中、3年連続で金賞を受賞した。

毎年、最上級生が卒業し、1年生が入部。長年楽器に親しんでいる人もいれば、初めて楽器に触れる部員もいる。上級生が熱心に指導し、約半年で上野中学校吹奏楽部を作り上げている。同中学で10年以上吹奏楽部の指導に当たっている柿沢香織先生は「毎年3年生が卒業しゼロからあるいはマイナスからのスタートになる。先輩からの受継ぎが伝統として残っている。その伝統が積み重なって現在がある。部員の心の中には『感謝 感動 笑顔』の言葉が染みついている」と話す。6月に学校を訪問し練習を見学させていただいたが、全体練習の中で各小節ごと、各パートごと、個々の楽器ごと、音の種類、音の表現など細かい指導が入る。それを生徒は即修正する。その対応力に感心する。そのような厳しい練習の積み重ねが曲として作り上げられていく。今年も10月に宇都宮で開かれる全国大会で好結果を残すべく練習に励んでいる。



全体練習風景



指導する柿沢先生

### 北上翔南高校鬼剣舞部

#### 第47回「全国高等学校総合文化祭伝承芸能部門」で文化庁長官賞受賞 「第34回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演」に参加

昨年7月30日から8月1日まで鹿児島県奄美市で行われた第47回「全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門伝承芸能部門」で文化庁長官賞受賞（準優勝相当）。半蔵門の国立劇場で開かれた「第34回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演」に参加し、岩手の郷土芸能鬼剣舞を披露した。今年は前年優秀な成績を収めた結果規定により1回休み。10月にさくらホールで行われる「第47回岩手県高等学校総合文化祭郷土芸能発表会」で来年の全国大会出場を目指す。

鬼剣舞部は岩崎鬼剣舞の流れを汲み、岩崎鬼剣舞の及川氏らの指導を仰いでいる。現在部員数64名。現在3年で部長の佐々木さんは小学校入学前、2011年の震災で福島を離れ金ヶ崎に移住。毎年8月に開かれる「北上みちのく芸能まつり」で鬼剣舞と出会う。「かつこい」と思い教えてくれるところを探し鬼剣舞を覚える。クラブ活動で鬼剣舞部のある同校に入学現在に至る。「鬼剣舞は難しいが無性に楽しい」といい、リーダーシップを発揮し、来年の全国文化祭出場をめざし熱心に下級生の指導に当たる。全国高等学校総合文化祭には参加できないが「みちのく芸能まつり」をはじめ市内外で行われるイベント、慰問、発表会などで岩手の郷土芸能鬼剣舞を披露している。



練習風景



国立劇場での演舞(主催者提供)

### 市立黒沢尻北小学校

#### 第76回全日本合唱コンクール小学校部門福岡県知事賞受賞 第90回NHK全国学校音楽コンクール小学校の部 銀賞受賞

北上市立黒沢尻北小学校合唱部は令和5年10月8日、NHKホールで行われた第90回NHK全国学校音楽コンクール小学校の部で銀賞受賞（準優賞相当）。また、福岡県で11月12日に行われた第76回全日本合唱コンクール小学校部門では金賞福岡県知事賞受賞（優勝相当）を受賞した。小学校部門が新設された2019年から4大会連続（2020年はコロナで中止）で最高賞に輝いた。

4年生から6年生まで合わせて約47名。「うまくなる魔法はない。地道な継続の練習を正しく積み重ねていけるよう導く。今の北小を少しでも超えるため新しいものに挑戦していく。自分も日々新しいものを見つけていく。それが生徒のため。子どもたちのちがらがもつと現れる。想像以上のものを引き出せるようにすることが目標」と中野先生は話す。

今年も10月14日東京NHKホールで全国大会が行われる「NHK全国学校音楽コンクール」、11月17日に福島県で全国大会が開かれる「全日本合唱コンクール」をめざし、8月から始まる地区大会から出場する。

高い目標を設定する。それに向かって鍛錬、努力する。頑張ってください。



受賞報告会

### 北上ミュージックコーラス隊

#### 初開催「全日本子どもの歌コンクールで」グランプリ・金賞受賞ほか審査員長賞、最優秀指導者賞など4部門も受賞

北上市内を中心とした小中学生でつくる北上ミュージックコーラス隊は25年の歴史を持つ。前身は1999年北上市教育委員会主催の「いきいき学園」。音楽好きの小学生10名ほどでスタートした。その後、当時の保護者や指導者の強い願いから任意団体として再スタートし、音楽活動を通じて表現力や協調性を高め豊かな人間性を育てていくことを目的として、現在は市内の小学校1年生から中学校3年生が所属し活動している。

毎年開催している団体主催の定期公演では秋田県のわらび座の演出家を先生として招きミュージカルやオペレッタに取り組んでいる。さらに合唱コンサート開催のほか、市内老人福祉施設の訪問や市内イベント出演などを通じて市内外の皆様に合唱や演劇を届ける活動を続けている。また、黒沢尻北小の同学区の上野中学校には合唱部がないためその受け皿的な存在として校外活動部としても認められている。

そんな歴史のあるコーラス隊の市内6中学校から集う14人が出場し上記の成績を収めた。心一つにして練習を重ねてきたメンバーは「皆さんの応援で最高の結果になった」と自信を深めている。今年「NHK全国学校音楽コンクール」「全日本合唱コンクール」中学校の部に出場予定。東北大会、全国大会の出場を目指す。



夜7時からの練習



## 黒沢尻北高創立100周年 (黒陵に集いて)

### 記念式典

令和6年5月3日(金)、さくらホールで全校生徒・教職員・来賓・PTA・同窓生ら約900人が参列して、創立100周年記念式典と記念講演会を午前10時より挙行された。

国歌斉唱・金濱千明校長式辞・伊藤彬同窓会会長挨拶、その後、感謝状贈呈(90周年以降の歴代校長・PTA会長)。校長、北村東棟・菊池浩様・泉悟様・及川弘純様。PTA会長、和賀匡彦様・八重樫敏様、創立100周年記念事業協賛会会長、伊藤彬様に感謝状贈呈された。

来賓祝辞として、同窓生である八重樫幸治岩手県副知事、八重樫浩文北上市長等より祝辞をいただき、その後、生徒会長の赤坂茜羽さんが代表して「歴史ある黒陵で仲間と成長しあえることをうれしく思う。次の100年、その先まで、黒陵はみなさまの心と共に歩いていくことを約束する」と結んだ。

最後は魂象徴するバンカラ応援部の指揮により参加者全員で校歌 みちの中国水清き 和賀の平野の一角に 老松天を摩すころ 巍然と立てるわが学舎 聞けよわれらが撞き鳴らす 暁告ぐる鐘の聲 (相馬御風作詞・中山晋平作曲)を斉唱し、記念式典を終えた。

### 記念講演会

記念式典に続き、漫画「ドラゴン桜」の作者でOBの三田紀房さん(48回生)が講演。「黒陵日本一計画」と題して、「日本一は空想、妄想と思うものもあるが、無理不可能と思った瞬間に考え方や行動が止まる。不可能を克服してきたのが人類の歴史だ。黒陵も不可能ではない」と100周年記念事業で東京大合格を目指す「東大立志プロジェクト」に触れ「桜や松に囲まれた教育環境に恵まれ、部活動も活躍していることは日本一と言ってもいい」と挑戦する大切さを訴えられた。

\*参考、第1回生(昭和4年3月卒業)～第16回生(昭和19年3月卒業)東大合格(卒業生)は14名で、その3名は、私の身近な人でした。第1回生八重樫運吉さん、第3回生高橋藤八さんは同級生の父親で、第15回生後藤昌次郎さんは父の同級生であり、戦前は毎年のように東大に合格しておりました。(同窓会名簿より)、三田さん、母校の為に尽力くださりましてありがとうございます。私も微力ながらお手伝いしたいと思っております。

### 創立100周年記念祝賀会 100年の歴史3万の青春

午前の創立100周年記念式典を終えて、場所を変えてプランニュー北上で午後1時半より祝賀会が始まり参加者約190人、在京よりの参加者は会長の深澤彰彦様、幹事長の南川昌光様、幹事の関口しずか様、菊池裕様、小原寛の5名が参加しました。

創立100周年周年記念事業協賛会会長挨拶伊藤彬様に始まり、PTA会長挨拶、来賓祝辞を終えて懇親会始まり、応援部OBによる校歌、黒陵歌、エール等が行なわれましたが約55年前入学した当時を思い出して涙ぐみました。歓談後、創立100年の同窓会祝賀会を終了しました。

7月5日(金)スクワール麴町3階「フリースペース錦華」で第46回在京黒陵会を開催し、岩手から伊藤彬同窓会会長・金濱千明校長・小田島淑人事務局長が上京されて総勢39名で開催いたしました。フレイフレイ黒陵！ フレイフレイ黒陵

最後に黒陵の伝統を受け継がれることを願います。(記 小原寛)



①創立100周年記念式典



②創立100周年記念式典で講演する三田氏



③創立100周年記念祝賀会フレイフレイ黒北

## 母校(廃校)を訪ねて 黒岩小学校廃校に思う 小菅寿彦

2023年(令和5年)3月、私の母校である北上市立黒岩小学校が149年の長い歴史に幕を閉じました。1960年(昭和35年)入学の私がこの校舎に通ったのは、小学3年からである。私の家から学校までは、山を越えて3キロ余り、一時間以上の道のりでした。

その為1、2年生の間は平沢地区にある黒岩小学校平沢分教場(平沢分校)に通っていました。

私が2年の時の生徒数は1年生2人、2年生8人の計10人に先生一人で、お昼寝時間があったり幼稚園を知らない私にとって疑似幼稚園の様な楽しい思い出です。

2年の間、本校に行くのは、学芸会や運動会の年間行事くらいのものでその時の本校舎の大きさと大勢の生徒に圧倒されたのを覚えています。今考えると全校生徒でも170人余りの小さな学校だったんですが、その平沢分校も私たちの2年生を最後に廃校になってしまいました。3年生から本校に通う事になるのですが今まで交流があった事もあり1クラスしかない同じクラスの生徒(合わせて29人)ともすぐ仲良くなりました。通うのに遠かった道も四季折々に楽しみがあり、秋は出がけに自分の家の畑から林檎をもらって学校に程近いよその家の稲のはせがけの隙間に忍び込ませて放課後帰り道に回収してみんなで食べながら帰ったり、冬は田んぼに積もった雪がガチガチに固くなるとその上を学校までまっすぐ歩いたり学校に行くのが本当に楽しみでした。

授業では、グラウンドのすぐ裏山から山歩きで県の指定文化財白山神社までのハイキングや目の前の田んぼで解剖用のカエルを獲ったり、学校の周りの自然と授業が直結して、この上無い環境だったんだと思う。廃校時の校舎は私たちの学んだものとは違いますが2年前に廃校の話聞いた時はいか仕方がないのだなと思うと同時に寂しい思いになったものでした。現在の校舎は築30年ですがまだまだ古く感じられず綺麗なままです。

地元の方からも校舎の新しい使い方を相談されたりしていましたがなかなか策もなく気になっていました。そこに毎年在京北上ふるさと会に参加いただいている株式会社ユーティーオーの宇土社長から廃校になった校舎そのままをカシマユニットUTOの工場として利用させて頂くとお話がありました。すごく嬉しいお話でした。

UTOの製品は英国ロンドンの老舗店をはじめシドニー、ジュネーブなど世界のブランドになりつつあります。黒岩から世界へ、株式会社ユーティーオーのますますの発展を祈らずにいられません。



2年生まで通った平沢分校



私たちが通った旧校舎



現在の写真・現UTO工場